一般質問

木田　昇
（大分市）

地域公共交通について

（質問）地方都市、特に過疎地域で路線バス等の減便・廃止のほか、運転免許証返納に対する代替移動手段の確保など、地域公共交通を取り巻く課題が顕著となっている。

こうしたなか、２０１３年には交通政策基本法が制定された。これは「交通権」の精神を組み入れたもので、住民の移動手段の保障はユニバーサルサービスの一つだと考える。今後の地域公共交通政策をどのように展開していくのか。

（答弁）地域公共交通は、交通事業者のみならず、地方公共団体も主体的に、その維持・確保を図ることが重要。今後も引き続き必要な予算を確保しつつ、積極的かつ主導的に県の役割を果たしていく。

新交通管理システムの運用状況と利用拡大について

（質問）交通渋滞は慢性化しており、通勤時間の長時間化、公共交通や物流の効率化において支障が生じるほか、大気汚染など環境面でもマイナスの影響を与えている。

こうした交通状況に関して、交通全体のマネージメントを行う新交通管理システムの研究開発と実用化が警察庁を中心として進められている。本県の運用状況と今後の利用拡大の考えは。

（答弁）本県では、交通情報提供システム、公共交通優先システム、信号情報活用運転支援システムを運用している。今後の交通環境の整備状況などに応じて、現場急行支援システム等、新たなサブシステムの導入可能性を検討する。

ダム等の洪水調整機能について

（質問）記録的大雨が頻発し、毎年、国内いずれかの地域が集中豪雨災害に見舞われており、想定を上回る降水量の増大に既存の堤防や治水ダムだけでは対応しきれていない状況にある。国においては、ダムによる洪水調節機能の早期強化に向け検討を行い、本年４月に「事前放流ガイドライン」を策定し公表している。本県の「事前放流」の対応状況と、このたびの７月豪雨において「事前放流」が行われたのか伺う。

（答弁）事前放流は、一級水系の２１ダムでは、６月から運用を開始している。二級水系では近年に水害があった９ダムにおいて９月から運用を開始しており、残る６ダムについても年度内の運用開始を予定している。７月豪雨における県関係ダムでの事前放流の実績はない。今後も既存ダムの洪水調節機能強化やダム以外の施設等の活用により洪水被害の軽減に繋げていく。

その他に、「持続可能な観光」「花に関連する施策」「戦争遺跡の保存・伝承」について質問を行いました。

一般質問

尾島保彦
（宇佐市）

新型コロナ感染防止対策について

【尾島】秋以降、インフルエンザと新型コロナウイルスが同時流行する可能性がある中、医療・介護に従事するエッセンシャルワーカーの不安解消につながる支援について伺う。

【知事】秋から冬にかけ同時流行が懸念され、ピーク時には一日二千人の患者が発熱等で医療機関を受診することが予想される。

身近な医療機関でインフルエンザと新型コロナの両方の診療や検査が可能となるよう、保健所によるきめ細かなバックアップを行ないながらハード面の対策として、感染が疑われる患者とその他の患者を混在させないよう施設改修や簡易陰圧装置の設置のために支援金の交付を開始。防護服等医療機材はピーク時でも３、４か月持ちこたえられる備蓄を行っている。

ソフト面では研修の実施や感染管理認定看護師による個別支援、また施設内での感染者の発生を早期に探知するため、発熱や呼吸器症状のある職員や入所者の人数を常にモニタリングし増加兆候の場合には、即座にＰＣＲ検査を行う体制を敷いている。

メンタル面の支援では保健所やこころとからだの相談支援センターで、相談窓口を開設し、すぐに相談できる体制を整えている。

【尾島】学校におけるコロナ感染防止策として、少人数学級の編制や、特別支援学校の増便スクールバスの添乗員配置・消毒作業の支援について

【教育長】少人数学級は、人件費だけでなく、教室等のハード整備に多額の財源が必要だが、政府の教育再生実行会議の初等中等教育ワーキンググループの初会合では、新型コロナ感染症を踏まえた小中高校の学びのあり方について、少人数によるきめ細かな指導体制や施設設備等の環境整備を進める方向で議論していくことが合意された。国に対し構造的な教員不足を改善し、少人数学級を推進することや教育環境の整備を要請していく。

スクールバスについては、県内での感染リスクは依然として続いていることから、今年度末まで増便を延期する。期間が長期にわたることから、教職員の負担軽減を考慮し、添乗員を配置する。また同様にスクール・サポート・スタッフを配置し、消毒作業等の業務支援にあたる。

この他①定時制・通信制高校に通う生徒等の生活支援②災害廃棄物の処理③農業大学校における大特免許取得機会の拡大④インクルーシブ教育の推進⑤学校におけるＩＣＴ支援員の配置⑥国保制度における県の役割について質問しました。